

かみふ子育てネット 「くるくる」と語る！

❑かみふ子育てネット「くるくる」会員(以下、子育てネット) 昨年、「育児サークル連絡協議会」が「かみふ子育てネット」「くるくる」になり、子育て中のお母さんたち主導での活動が始まりました。これにより、個人の意見を言ったり新たな活動の提案がしやすくなり、7月に映画「うまれる」の自主上映会を行うことができました。

また、子どもが成長し、育児サークルから離れた人も、希望すれば個人会員として講演会やイベントなどの情報を得られるのも良くなった点です。

◎町長 子育てネットの誕生で、子育ての情報を広く発信していただけるのは大きい。今後も活動を広げていただきたいです。

❑子育てネット もっとこの会を知っていたくために、町からも町民の皆さんに周知していただきたいです。

町内に小児科・産婦人科を

❑子育てネット 育児サークル内のアンケートでは、「町内に小児科が必要」「小・中学生の医療費の自己負担免除」についての意見が多く出ました。

❑子育てネット 1歳にならないと町内の内科では診察してもらえないので

富良野市の小児科に通院していますが、地元の小児科があると安心です。

◎町長 小児科と産婦人科は専攻する医師が少なく、旭川医科大学病院でも医師の確保が大変な状況です。まずは出産する方のために、富良野協会病院内にある周産期医療センターの機能維持を富良野圏域として支援します。

予防接種と医療費の助成

❑子育てネット 定期の予防接種を火曜日だけではなく、土日でも月1回受けられたらと思います。働くお母さんは仕事を抜けて病院に来ており、混む日などは接種に時間もかかり大変です。

❖保健福祉課長 土日の予防接種を行うには診察する医師の確保が必要なので、町立病院とも相談します。

◎町長 予防接種を受ける利便性を向上するためにも、参考意見として受け止めさせていただきます。

❖保健福祉課長 病気になるてからの支援も重要ですが、病気を予防するための支援も重要ですので、来年度には任意の予防接種費用について、助成の拡大が図られるよう検討しています。

❑子育てネット 町内では小学生の医療費が3割負担ですが、中富良野町では小学生まで無料です。町でも軽減してもらえればと思います。

◎町長 病気の子どもの医療費を支援するのほひとつの考え方ですが、私は

医療も含め、安心して子育てができる環境整備が必要と考えています。どのような支援が必要かと思えますか？

❑子育てネット 子どもの年齢や人数で意見が違つていますが、医療費の支援があると、持病がある子どもがいても安心感があります。

子育て世帯への生活費支援なら、厚着をして暖房費を削るなど、自分で工夫すれば生活費の調整もできるので、医療費支援の方が必要です。

◎町長 町でも定期的な受診が必要な家庭への支援は考えています。

医療費を無料化したいという気持ちもありますが、ほかの自治体では無料化により安易な受診が増え、緊急を要する治療ができずに病院が困るという実態もあります。皆さんの意見を反映するためにもさらに意見をいただき、今後に生かしていきます。

町外の病院へ行くために

❑子育てネット 子どもの通院で旭川行きのバスに乗りますが、本数やバス停が増えれば使いやすいですね。

◎町長 交通手段を持たない人が、富良野市の小児科に行くときはどうしていますか？

❑子育てネット 基本的にはバスとJRを利用していきます。交通手段がない場合はタクシーです。

◎町長 病院へ行くための移動手段が

ないのは大変です。バスやJRを整備するのは、子育て環境を向上させるためにも大切だと感じています。

❑子育てネット バス停や駅まで子どもを連れて歩いて行きますが、遠いので子どもが病気の時は大変です。

❑子育てネット 高齢者の移送サービスのよりに、ファミリーサポートセンターを使つての送迎はどうですか？

◎町長 高齢者のような有償運送は整備に時間がかかる部分もある。町外へタクシーを使わず行けるよう、富良野圏域の交通について考えていきたいと思えます。

